

# 富士の今と昔 ⑩

元吉原中学校の西のあたりを、天の香久山あまかくやまといい、室町時代から江戸時代にかけて、登山の安泰を祈る富士信仰の霊場でした。また戦国時代には、吉原湊を制覇しようと、北条、今川、武田の軍が争った古戦場でもあります。



 地元の人に大切に保存されている富士塚

 明治時代の香久山 (写真提供 奈木盛雄氏)



## ぼくの作品 わたしの作品



夏休みの思い出、「かぶとむし取り」と「水泳教室」の様子を書いてくれた藤田幼稚園のお友だちの作品を紹介します。



ながやまのりやす



ふじたまかお



おうちのちかくにせみをとりにいったら、かぶとむしやのこぎりくわがたがいたよ。



ようちえんのプールでまいにちおよいだよ。バタバタおよぎがとくいです。



橋田 権治さん

14



ホトトギスの花

森にはホトトギス科の託卵鳥が、4種類渡って来る。ジュウイチ (寄託鳥はコルリ、オオルリ、クログミ、アカハラ等。以下カッコ内は寄託鳥) とツツドリ (センダイムシクイ、メジロ、キビタキ等) が4月下旬、コッコウ (ホホジロ、アオジ、ヒバリ、セキレイ)、ホトトギス (ウグイス、アオジ、センダイムシクイ) が5月上旬に渡って来る。ジュウイチ、ツツドリは霧の深い朝など寂しい声で鳴き、カッコウとホトトギスは森の上を鳴きながら飛ぶ。そして秋、彼らが遠い南の国へ去ると、森の小道に沿ってヤマホトトギスの花が可憐な冠かれんに似た花を咲かせる。続いてヤマジノホトトギス、前後にホトトギスの花が見事に咲き出す。白、またはピンクの地に濃い赤紫色の斑点が、ホトトギスの腹毛に似ているので名づけたものだが、いずれもユリ科、低山の花の中ではよく目立つ。

※丸火の自然は、今回で終了させていただきます。丸火自然館の橋田さん、どうもありがとうございました。